SoftBank

資料10

AI産業基盤の構築

ソフトバンク株式会社
宮川 潤一

© SoftBank Corp. All Rights Reserved.

AI産業基盤の構築に向けた取り組み

SoftBank

	2021年～2025年 基盤整備・技術開発・先行投資	2026年～2030年 社会実装・事業化・海外展開
	1 **データセンター・計算基盤の整備** - 苫小牧DC、大阪堺DC、NVIDIA GPUサーバー 2 **Infrinia AI Cloud OSの開発** - AIクラウド運用基盤	1 **大規模DC・Regional Brainの整備・拡張** - 苫小牧DCの稼働・九州DCの立ち上げ・国内計算拠点の拡張 2 **Infrinia／GPUクラウドの事業展開** - 学習・推論サービスの提供、海外展開
	3 **国産AIモデルの開発** - Sarashina開発、通信特化型LTMの開発 4 **AI・データ連携基盤の研究開発** - xIPFの研究開発、フィジカルAIの共同開発・実証	3 **Noetraを活用したフィジカルAI事業展開** - 国産AIモデルの商用利用・関連サービスへの展開 4 **xIPFによるデータ連携の社会実装**
	5 **AI-RANの開発・アライアンス発足** 6 **All optical networkの構築** - 全国伝送路のコア領域全光化	5 **AI-RAN/MECの商用実装・海外展開** 6 **All optical networkの拡張** - 全国メトロ網への展開、DC・地域拠点の接続高度化
	7 **製造基盤の整備** - 大阪堺工場の取得、国産AIサーバーの製造着手 8 **次世代GX技術の研究開発** 9 **HAPS・衛星通信の開発・実証**	7 **大阪堺工場での製造事業開始** - AIインフラ関連製品(AIサーバー、通信機器等)の製造・販売 8 **国産革新型バッテリー・太陽電池の製造事業開始** 9 **衛星 × HAPSでの光無線通信技術の商用化**

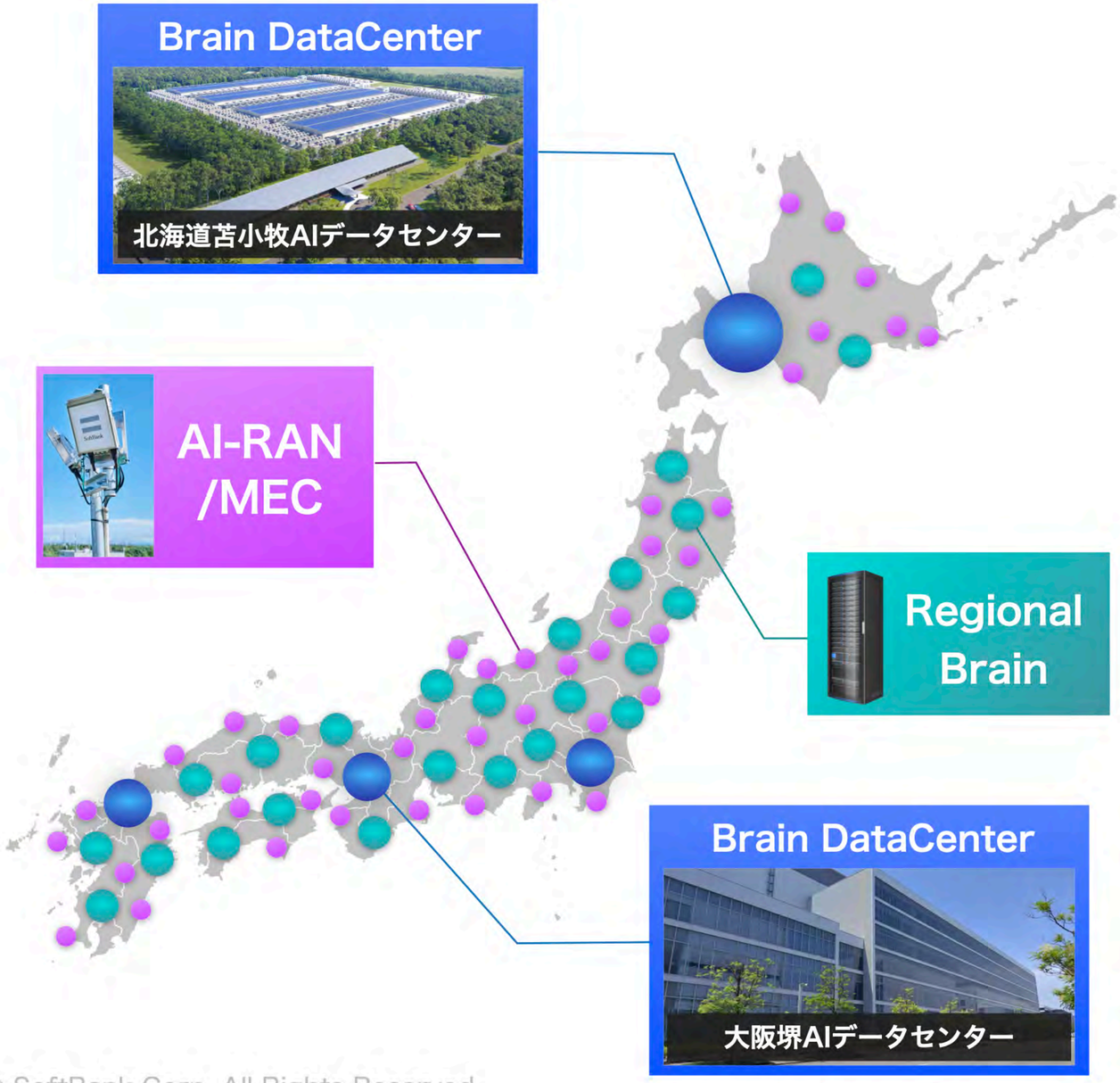
今後5年間でAI産業基盤の社会実装・事業化を加速

© SoftBank Corp. All Rights Reserved.

AI産業基盤の構築に向けた取り組み

SoftBank

- Brain DataCenterからAI-RAN/MECまで、**全国にAI計算基盤を整備する構想**を推進。
- 構想実現に**必要な総資本は約65兆円と試算**。※アセットのオフバランス化も想定し、パートナーと協議中
- 政府には**電力系統の強化**と、**環境アセスメント等の手続きの迅速化**をお願いしたい。



Brain DataCenter	受電容量 7GW	約63兆円
Regional Brain	受電容量 0.4GW 10MW × 40拠点	約1.2兆円
AI-RAN /MEC	10万局	約0.5兆円

構想実現のために必要な総資本

約65兆円

アセットのオフバランス化も想定し、パートナーと協議中

*MEC：Multi-access Edge Computing

© SoftBank Corp. All Rights Reserved.

AI産業基盤の構築に向けた取り組み

SoftBank

・Noetraが開発するマルチモーダル基盤モデルを活用し、**国内企業の個社モデル開発**など、
フィジカルAIの社会実装を通じて、**国内産業の生産性・付加価値向上**を実現する。
・**AI関連製品の国内製造・海外展開**を通じ、日本の**国際競争力強化**と**強い経済の実現に貢献**する。
　└ AIサーバー、光モジュール・光スイッチ、次世代バッテリー等



国際競争力強化と強い経済の実現へ

© SoftBank Corp. All Rights Reserved.